

数学

同志社大学 全学部日程 [理系] (2 / 4 実施)

<全体分析>

試験時間 100 分 解答問題数 4 題

解答形式

〔I〕は空所補充、〔II〕～〔IV〕は記述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

設問数が多く、計算量も多い

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

なし

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
〔I〕				
(1)	確率	数学A	反復試行の確率、最大値・最小値の確率	やや易
(2)	複素数平面	数学III	複素数列の漸化式と極限、無限級数	やや難
〔II〕	空間ベクトル	数学B	空間内の折れ線の長さの最小値	標準
〔III〕	数列 数列の極限	数学B 数学III	1次分数関数型漸化式、合成関数、数列の極限	やや難
〔IV〕	微分法・積分法	数学III	接線の本数、回転体の体積とその極限	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年、数学IIIからの出題が多い。数学IIIの微分積分については、質、量ともしっかりと学習を必要とする。設問数、計算量ともに多いので正確かつ素早い処理能力を身につけるよう努力したい。過去問を解いてみて難しさの程度を知ろう。